

仙台市ミニテニス協会審判講習会



仙台市ミニテニス協会の公認審判員取得講習会が令和6年4月6日、仙台市若林体育館で開かれた。

講師は、日本ミニテニス協会公認指導員・審判員の阿部勝彦審判長・丹野克之理事長、午前理論午後実技を行った。

講習会は、78人のミニテニス愛好者が受講、午前の理論では競技規則について阿部勝彦講師からサーバーやプレー中の失ポイント、審判員に対する抗議等々詳しく説明。

丹野克之講師からは、記録表やオーダー票等々の記入について詳しく説明があった。

質疑応答も活発に行われ、主審、副審、線審の明瞭な判定の重要性を実感したようだ。

午後からは、コート設営「ネットやラインテープの張り方」等学んだあと新人を中心に審判技術



を学んだ。

午後の審判実技では審判既得者はプレーヤーとなり、新規受講者を中心に、主審・副審・線審を確りと学んでいただいた。「審判員は、選手たちのプレー環境を確保し、ボール等の判定には視野を広めることが大事」ミニテニス大会は相互審判、練習試合等で研鑽し優秀な審判員を目指しましょう。

仙台市M・T協会春季大会



仙台市ミニテニス協会は令和6年4月13日(土)、宮城野体育館で春季大会を開催した。令和6年度の開幕戦、コロナ過のパンデミックにより全ての文化が抑圧され、当協会においても中止や自粛が余儀なくされてきた。5類移行となったものの選手たちは戻ってこない。出場は33チーム、当時の60%の参加。以前の活性化ある大会開催には5年〜6年の年月が必要ではと思っている。

試合は4部制、6ポイント3ゲームマッチ、予選からヒートアップ、フルセットまでもつれるパートが続出、ミニテニス特有のトップスピンの角度のある強力なインナー攻撃が随所に見られ得点につながっており、館内は盛んな声援

が飛び交っていた。

1部優勝 TNB・A
2部優勝 沖野A
3部優勝 七郷
4部優勝 大和B

攻めて優勝を勝ち取ったTNBチーム代表佐藤淳さんのコメント
「今回は久々にフルスベックで行われた大会。多くの強豪がいる中で優勝できたことは本当にうれしく思います。」

コロナ過が落ち着いてきたとは言え大会に参加できるメンバーもなかなかそろわない状況ではありますが、ますます



木村勝好参与の挨拶

すミニテニスに精進してクラブ全体のレベルアップを目指してこれからも頑張りたいと思います」と話してくれた。

仙台市民総体共催 第28回大会



開会式

仙台市ミニテニス協会第28回大会は4月27日、青葉体育館で開催された。

開会式では、ミニトチームの遊佐達子・秋山祐美子の両選手の力強い



選手宣誓の後、9・40、10コート一斉にプレーボール。審判では「イン・アウト・ハンドリング等に精通され、令和6年度の審判講習会が生かされていったようだ。

1部〜4部の選手たちは、日頃の練習の成果が随所に見られ、前後左右に変化する技、強烈なスマッシュ、ネット際の攻防・・・目が離せない戦い。これがミニテニス

の醍醐味だ。

- 1部優勝 蒲町
- 準優勝 松陵A
- 2部優勝 沖野A
- 準優勝 松陵B
- 3部優勝 荒町A
- 準優勝 富沢A
- 4部優勝 トリコロール
- 準優勝 大和B

1部優勝の蒲町チーム、平塚しげみ選手は



「孫の声援が力になった。」と流れる汗をぬぐった。



熱戦攻防



仙台市MT協会夏季交流大会



仙台市ミニテニス協会夏季交流大会が令和6年6月23日（日）宮城広瀬体育館で開催された。大会当日、A・B部門の団体戦が29チーム編成され、各チームの作戦会議後一斉にプレーボールとなった。



部制による昇降格
摘要なしの大会、公
式戦では対戦相手と
のペア等々大会当日
決定に選手たちはわ
くわくドキドキ。
試合は初戦からフ
ル回転、頭の上まで
のテイクバックから
振り出す強力なサー
ブ・ボールが円盤に
なるようなスマッシ
ュの攻防・・・観客を
魅了・これがミニテ
ニスの真髄だ。



仙台市ミニテニス協会



夏季大会



仙台市ミニテニス協会夏季大会が2024年7月28日、若林体育館で開催された。当日は、32度の猛暑にも負けず、選手たちは持てる力を存分に発揮し熱戦を転回していた。



写真、トッププレーヤー女子、2選手のサーブに注目した。
(トス・フットワーク・テークバック・インパクト時の歩幅・フォロースルー)の工程により、強力なサーブが完成していた。
インパクトの一秒間をどう使うか？(強打・軟打・カット)ミニテニスはやっぱり強打が魅力だね。
写真右上、サーブを打つ選手のパートナー、確りと腰を落としての基本の構え、どこにボールがかえってきても対応できる。
スポーツは構が大事、いかにボールを処理するかだ、相手のことなど気にするな...試合は勝つか学ぶかだ。負けはない。頑張ろう!!



開会式

第36回若林区民ふるさとまつりスポ・レクフェスタ24ミニテニス大会は、令和6年9月8日(日)。
 若林体育館で開催された。
 開会式では、若林区まちづくり協議会、堀江新一朗副会長の挨拶、続いて連坊チーム華麗な淑女3選手は「暑さにも負けず、一打一打魂を込めて・・・」との選手宣誓に参加者たちから温かい拍手がおくられていた。
 9・45、4部制による団体戦10コート一斉にプレーボール、熱い戦いが始まった



選手宣誓



32度の猛暑日、選手たちは、こまめに水分補給等々暑さ対策にも留意しながらの熱い戦い、ボールが円盤となるような打ち合い、前後左右に変化するトップスピン、他のスポーツには見られないフットワークとパワー、これがミニテニスの醍醐味だ。

嬉しかったこと。「選手たちはプレーに・審判員は判定に精通」され大収穫だった。

仙台市ミニテニス協会秋季大会



女子ダブルス戦 荒浜 A 対 TNB・A の攻防

2024年11月10日、秋季大会が宮城野体育館で開催され、コロナ過で選手が戻らず36チームの参加だったが、選手達は日頃の練習で極めた技を随所で展開白熱したプレーに会場は温かい声援が飛び交っていた。



開会式挨拶する木村勝好参与、続いて斎競技委員長から競技上の注意があった



選手宣誓する、
沖野チーム



優勝カップを返還する次代を担うジュニア。荒浜チーム

実技講習



台市スポーツ

振興事業団・

若林体育館主催

のミニテニス実技講習
会が11月16日(土)、若
林体育館で開催された。
若林体育館 館長高橋
浩二様は「日頃から当体
育館をご利用いただき
感謝しております。」

本日の講習会でしつ
かりと技術をマスター
され、各種大会で発揮し
て頂ければ幸いです。』
とご挨拶。

講師は、日本ミニテニ
ス協会公認指導員・審判
員(仙台市ミニテニス協
会役員)が担当。

直径12センチ軽くて
大きなボール、だからパ
ワーとスピンの重要。』
グリップの握り方や
構えの姿勢、フットワー
ク・体幹を使うにはテイ
クバックと左手の使い
方が重要等と説明、続い

てサーブの打ち方やド
ライブ・スマッシュ・イ
ンナー打ち・クロス打
ち・スライス等などやっ
てみせるやらせるの



反復練習を行った
参加者からは「テイ
クバックから体幹を使っ

ての思い切り打ち込む
ショットが一番の収穫」
「ボールが軽いのでス
イングのスピードが不
可欠と実感した」。
等々の感想があったよ
うだ。



半日だったが意義ある
講習会だった。



仙台市スポーツ協会会長武田均様のご祝辞



東日本大震災復興元年を機に開催した「第13回全国ミニテニス交流仙台大会(団体戦)」が令和6年11月24日、宮城野体育館で開かれた。開会式では、仙台市スポーツ協会会長武田均様のご祝辞。日本ミニテニス協会顧問 土屋品子様のご激励文を代読、続いてまいりました。

ミニテニスを通して育まれてきた友情を深めると同時に、フェアプレーに徹した真剣勝負の中で培われる新しい芽を大きく育む、そんな大会を目指して準備してまいりました。



サウスポーからの破壊力のあるサーブ

て秋田県協会の選手宣誓後熱戦が展開された。

試合は6ポイント2ゲームマッチ、B部門は60才以上1ブロック、A部門フリーは3ブロックに分かれ、ブロック毎予選6試合を行い、B部門は上位4チーム、A部門はブロック1位2位の6チームが決勝トーナメント戦に進出した。試合は予選からヒートアップ、カットやスライス、強力なスマッシュの攻防に館内は盛んな声援が飛び交っていた。

